

県南支部学術研修会を10月2日(金)18時から19時40分の時間帯で開催しました。新年度になって支部運営を引き継いでから、これが初めてのイベントとなります。COVID19感染拡大防止のため生活様式そのものが見直されたり、様々なことが制約を受けたり、また方法や手段が変化しています。県南支部学術研修会も初めてWeb開催を試みました。会員発表では、特にCOVID19に関しての業務マニュアル作成についてや実際の検査対応、また感染拡大防止のための環境整備等、実務や経験に沿った内容が発表されていました。ほぼ全施設で行われていたのは標準予防策や検査後の清拭、業務マニュアルの作成などでした。細やかな対応の一部としては、操作パネルやフットスイッチの養生、患者待合の工夫などがありました。Web研修会のためディスカッションが盛り上がるのかどうか運営上の不安がありましたが、発言やチャットツールを利用した議論が行われ、結局予定時間ギリギリまで活発な意見交換が行われました。

JARTからCOVID19対応のガイドラインがだされたと情報がありましたので、この研修会で得た情報とともに、明日からの業務に役立てていただきたいと思います。

開催様式をWeb研修会にしたことで参加人数が増え、また県北地区からの参加者がいたことは喜ばしいことだと感じています。開催する側も参加する側もまだ不慣れなことが多く、問題点の洗い出しができた意味でも実りある研修会となりました。

(文責:高橋)

